

平成28年9月13日(火)

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

記者発表資料

## 保土ヶ谷バイパスで重大な交通事故に備え 5機関による連携訓練を実施します

～日交通量10万台以上を担う保土ヶ谷バイパスで交通事故に伴う被害の軽減をめざして～

国道16号保土ヶ谷バイパスにおいて重大な交通事故を想定し、5機関連携（消防、警察、医療、相鉄バス、国土交通省）による、事故対応訓練を実施します。

### 【訓練内容】

神奈川県警察高速道路交通警察隊と国土交通省横浜国道事務所による、関係機関への情報展開、迅速な車線規制、交通誘導及び規制解除

横浜市消防局旭消防署都岡特別救助隊等による負傷者の救助活動、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院所属YMAT及び救急隊によるトリアージ・連携救護活動

相鉄バス株式会社運輸部旭営業所による乗客の避難誘導

●開催日時：9月20日(火) 10:00～11:30 (小雨決行)

●場 所：相鉄バス株式会社運輸部旭営業所敷地内 (横浜市旭区下川井町 393 番地)

訓練当日は、取材可能です。取材を希望される場合は、訓練当日の午前9時30分までに直接、訓練会場へお越しください。

横浜国道事務所ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/yokohama/>

平成26年度訓練風景



▲ 車両救出訓練の様子



▲ 救護訓練の様子



▲ 散乱物等除去の様子

### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ

神奈川県政記者クラブ

神奈川建設記者会

横浜市政記者会

横浜テレビ・ラジオ記者会

### 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2

TEL 045-311-2981 (代表)

副 所 長 菱川 龍 (ひしかわ りゅう) 内線205

管理第二課長 古谷 明久 (ふるや あきひさ) 内線441

# 「5機関連携保土ヶ谷バイパス多重交通事故対応訓練」のご案内

国道16号保土ヶ谷バイパスで大規模な交通事故が発生した場合、消防、警察、医療、相鉄バス及び国土交通省の連携が不可欠であることから、相互の任務を確認し、各機関の円滑な連携による被害の軽減を図ることを目的に訓練を実施します。

## 【訓練想定】

- ・国道16号保土ヶ谷バイパスにおいて、乗用車3台が関係する交通事故が発生。
- ・乗用車後方で緊急停車した大型バスにトラックが追突する交通事故が発生。
- ・乗用車の乗員、大型バスの乗客及びトラック運転手等、約20名の要救助者が発生。
- ・道路上には、トラックの荷物が散乱し、緊急車両が進出出来ない状況。

## 訓練のポイント

- ①《初動対応》
  - ・適切な情報収集を行うと共に、**関係機関に情報展開**。
  - ・現場において、**迅速に車線規制、交通誘導**。
- ②《救命救助活動》
  - ・車内に閉じ込められた要救助者を特別救助隊とYMATが**救命処置を行いながら救助**。  
※大型レッカー車による事故車両吊り上げを実施。
- ③《負傷者搬送》
  - ・トリアージを迅速に行い、重症負傷者を**30分以内に搬送**。
- ④《早期規制解除》
  - ・事故車両の撤去、道路施設を復旧し、**迅速に規制解除**。

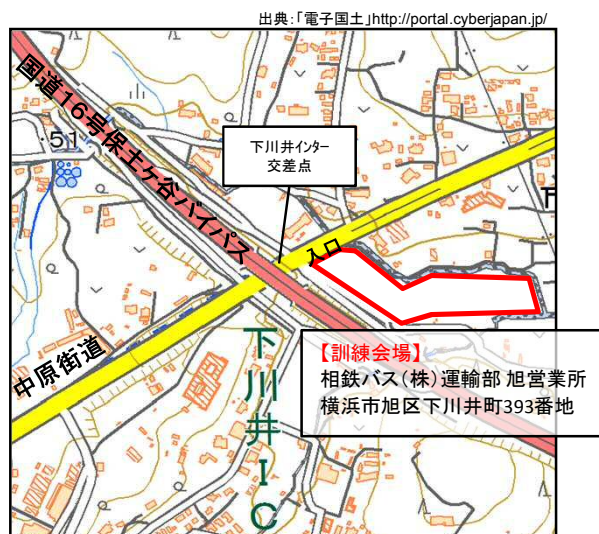
## 【訓練参加機関等】

横浜市消防局旭消防署  
神奈川県警察高速道路交通警察隊  
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院(YMAT隊)  
相鉄バス株式会社運輸部 旭営業所  
国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所  
訓練参加者合計 約70名(予定)

※YMAT : 横浜緊急医療チーム

※トリアージ: 多数の負傷者が発生した際、患者の治療順位、救急搬送の順位、搬送先施設の決定などの優先順位判断

## 【会場案内図】



※災害の発生や天候等により、訓練を中止または一部縮小する場合があります。